

○山崎委員 この豪雨の対応として、当時の状況でいきますと、まず天白・鹿化川の河川、ここの氾濫が、もう水位が危ないというような情報が先に出了ました。これはもう早かったです。我々もその夕方、対応するにあたって、もし万が一堤防決壊しますと、南警察署、それから庁舎、それからすべて畜産公社も全部壊滅的になるもので、早期対応が必要やなというところで、四日市市も避難対策を取られていたようです。で、町なかがその豪雨によって冠水をして、商店街も床上で、鹿化川と、それから商店街まで行く町なかの間の浜田地区というところが床上浸水がもう 1 メーターぐらいになってきまして、それで、商店街の水がさらにどんどん水位が商店街も上がっていったと。

それによって、冠水してずーっと水がついてくる中でみんながもう交通機能が麻痺して、道路で走っていた車がみんな止まってしまったと。エンジンが水についてしまってですね。そんな状況になっていきました。

これが、その当時の状況で、それで深夜 11 時ぐらいになると、水が引いていく中で、公共交通も再開される中で、足止めされていた皆さんが、12 時前ぐらいからずっと動き出して何とか対応して帰れるようになったと。そんな状況でした。

それで、いろんな地域の方たちからの連絡がすぐに入りまして、地下駐車場がえらいことになるとるぞという連絡が、実は、商店街の水が引いてから、それからすぐに連絡が入って、これどうしたもんやと。水が全くもって地下駐車場地下 1 階のところまで、ナンバープレートが隠れるまで、冠水してしまったと、水がはけてかへんと。そんな状況の連絡が入りまして、深夜もやりとりを二、三時過ぎまでやって、次の日、朝 8 時前に現地へ行きましたら、各止水板とかが全く上がってなくて、階段、通路、それから、車の出入りするスロープのところの止水板も上がってないという状況で、人がもう朝からいっぱい行き来してまして。

私も下へ降りて行って冠水してるところへ行きましたら、ガソリンのような異臭がかなりしまして、すぐ消防本部を手配していただき、ガソリンがひよっとしたら漏れてるんじゃないかということで、各入口を全部、消防本部にガソリン検知をしていただき、反応がなかったということを確認できました。

管
理事務所に連絡するにしても、事務所は地下 1 階やもんで冠水しとると。連絡をするに当たっても、各それぞれの掲示をするなり、チラシを配るなり、何かせなあかんということで、管理者の担当の方が現れたもので、その方に伝えてすぐ事務所を設置して欲しいということと、そういうチラシで連絡先を伝えるものを用意して欲しいということで、やり取りをしました。今度はじゃあ、ガソ

訂正・取消し後の会議録の案

リンの検知がゼロやったっていうことは、給排水車を手配しなアカン。給排水車を手配する中で、やっぱり豪雨によって、いろんな対応をするにしても、それぞれの業者もかなり方々に出払っておると。その中で、~~_____~~社長自ら飛んできていただいて、給排水の調整をするにあたって、3台で来ていただいて。まずは、その雨水をどこからポンプを入れて引き出すか~~_____~~
~~_____~~。それで、~~_____~~誘導を~~_____~~させていただいて、この雨水枡からマンホールを開けてやろうということを指示して、そこから水が引くに当たって、地下1階にホースを差し込んで給排水の処理をする準備ができて、そこからスタートしていったっていうのが11時過ぎぐらい。~~_____~~
~~_____~~
~~_____~~
~~_____~~
~~_____~~
~~_____~~
~~_____~~
~~_____~~
~~_____~~
~~_____~~

~~_____~~地下駐車場にため池状態で、それが流れ込んだことによって、大きな商店街の被害はあったものの、もっとついていたものが、そこへ流れ込んでもらってため池になってくれたことによって、被害はちょっと少なく済んだんではないかなとは思いました。
~~_____~~
~~_____~~
~~_____~~
~~_____~~
~~_____~~
~~_____~~
~~_____~~
~~_____~~
~~_____~~
~~_____~~

~~_____~~先ほど、休憩時間に杉本委員のほうからタイムラインやなっていう話もされておりましたね。タイムラインも視察で見に行きながらも、こういうことが箇所箇所で、リアルに全部映像が分かる、そういうシステムが、地域間であれば一番いいなということで。~~_____~~
~~_____~~この件に関して
いかがでしょうか。

○岸江次長 御説明いたしました資料の中でも少し触れてはおりましたけれども、課題と今後の対応方針の中でも、やはり、このタイミングのときに県も災害対策本部を立ててお

訂正・取消し後の会議録の案

り、一定様々な情報に基づいて、気象状況であったりとかっていうところは注視していたところではあるんですけども、そういった、それだけでは拾えない状況、特に今回の場合ですと記録的短時間の大雨だったっていうところもあるんですけども、できる限り、例えばSNSの情報をキャッチアップするとか、そういったところで情報収集力をもう少しさらに高めていく必要があるのかなというところは考えてございます。

○山崎委員 ありがとうございます。

で、ほかに移りますけども。県土整備部の皆さんが来ておりますので、お伝えしますけども、この鹿化川も天白川も過去の昭和49年の堤防決壊があって、その時に床上浸水が1メートル以上ついて、ということに近いものがこの集中豪雨で起きたわけですね。堤防はでも決壊してないんですよ。決壊しなくても1メートル以上ついたんですよ。決壊したらどうなるんだってというようなことなんです。

それで、その後の、鹿化川、天白川、特に鹿化川が、見る限り、南警察署の前ももう、また、流木が流れてきたり、ジャングル状態になったり、堆積土砂があったりするような状況に今なってます。すぐには言いませんですけども、あの状況を見たときに、南警察署が機能しなくなるなんていうことがもし起きると、我々もそれは四日市市市民として警察が対応に動けないような状況になるということは、これは本当にピンチです。いつときも早く、鹿化川、天白川等の整備を行っていただいて、あそこの南警察署管内の前だけはやっぱりきちっと機能して堤防が決壊しない、そして、水がオーバーフローしてあふれ出ないように対策を講じていただきたいと思いますけど、いかがでしょうか。

○喚阿課長 今回、確かに鹿化川につきましては、水位が20分ぐらいでもう2メートル50ぐらい上がるというような急激な上昇だったんですけども、幸いにして堤防のほうは決壊をせずに、川の水はあふれなかったというふうな状況でございます。

ただそうは言いましても今、委員がおっしゃったように、土砂とか、流木、何かたまっているものがございます。その点につきましては、今、ちょうど出水期も終わりに近づいておりますので、終わりましたらまた建設事務所と四日市市と相談しながら、どこを取るかというのは鹿化川に限らず、全体で堆積土砂の撤去ということを考えていきますので、本年度中には今、治水上問題になってる部分については撤去していくというふうな形になるかと思っております。

あともう1つ、河川改修のほうでございんですけども、鹿化川につきましては、JRの橋梁とかがすぐくネックになっていて、なかなか整備が進まない状況だったんですけども、私どもとしてもほっとくわけにいかないということで、何かできることがないかということで今、四日市建設事務所のほうで少し流下能力を増やす方策ということで考えていると

訂正・取消し後の会議録の案

ころでございます。そちらのほうも、予算がつき次第、やっていきたいなというふうに思っておるんですけども、いつからというのはちょっとごめんなさい、今、手持ちがないんですけども、やるという方向で今、計画を作っているところでございます。

以上でございます。

○山崎委員 ありがとうございます。

今回も、もう堤防の天端から 90 センチぐらい、1 メーターを切って、もう本当にあともう一降りしたら決壊やなっているところまでみんな危機感を持って、住民の方たちから連絡をいただいていた。

もうそれぐらい結構ピンチだったと思います。でも、冠水対策はやっぱり、これは四日市市ですから、本当に何と言うのか、その間、四日市市が堤防が決壊してないのに冠水して床上 1 メーターある。そこに堤防が決壊したらどうなるかっていうことを考えるともう本当に恐ろしい状況になると。

でも、実際私も幼少期の、小学校 4 年生のときにその経験が 11 歳のときにあるもので、決壊したときに、全くもって前へ進めなかったとか、ボートに乗せてもらったとか、そんな記憶もありますので、本当にそうならないように、県と市との連携をとっていただいて、四日市を守っていただきたいなと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

以上です。

○龍神委員長 その他ございますでしょうか。

○杉本委員 1 個だけ確認させていただきたいことがあるんですが、私はテレビでの情報しかちょっとなくて、止水板が壊れていたんで、閉まらなかったと。そこは国土交通省の三重河川国道事務所の管理のところやっていう話なんです、止水板ってそこにしかないんですか。他のところは作動して閉まったということなのか、止水板があるのはそこ 1 ヶ所だけなんですか。

○岸江次長 すいません、ちょっと正確な数はすぐにあれなんですけれども、まずは、階段で下りる出入口と、あと車が下りていく出入口がございまして、それぞれが複数ございまして、全部で、恐らく十何か所かはございますので、それぞれのところに本来なら止水板を設置できるようにはなっているところでございます。

○田中部長 電動の箇所、電動で板が上がること、手ではめるところとありまして、歩道のところは多分手ではめる、車のところが電動で上がってくるような、そういう形の止水板になっています。全部で 15 ヶ所だったかなと思いますけど。

○杉本委員 私はこの中央通り側が株式会社ディア四日市で、国道 1 号側が国土交通省っていうのを今日初めて知ったので、株式会社ディア四日市のほうは全部止水板が閉まっていたというふうに感じたり。

○田中部長 どれも閉まってませんでした。

○杉本委員 ですね。

なんか報道では国土交通省ばかりが出てくるので。国土交通省の部分だけではなくっ

訂正・取消し後の会議録の案

て、株式会社ディア四日市のところも止水板はきちっとできていなかったということですよ。

そうするとちょっと報道に偏りがあったということでしょうか。

○田中部長 電動の止水板が動かないっていうことが分かって3年半ぐらい放置されてたっていうことがあって、国土交通省に対して批判的な報道がなされてるんじゃないかなと思いますけども。

○杉本委員 とはいえ、私は今日確認させていただいて初めて分かったの。電動じゃないところも閉まっていなかったということなので、やっぱり管理の責任については、国土交通省以外のところにもあるっていうことでいいですよ。

○田中部長 責任って言われると分かりませんが、今、国のほうで検証委員会を作っていて、例えばそのどういう雨だったらマニュアルを設置するかなとか、そういうこといろいろ検証しておりますので、その検証結果でそういうことが明らかになってくるかなと思います。責任って言われるとちょっとまだ分からないですけども。

まず、人を避難させるのを優先させたとか、多分いろいろ事情はあるのかなと思います。そこを今検証中ですので、我々としては今ちょっとどうこうって言える立場ではございません。

○杉本委員 多分、メディアに対して私は思ってることなんやと思うんですけど、国土交通省のそれが壊れていたので水が入ったっていうのが、すごく私の中にはもう入っているので、その辺りは少しもうちょっと詳細に検証した上で、発表していただく時期もあるんだろうと思いますけども。県民はそんなふうに捉えている方が多いように思いますので。

了解いたしました。

○龍神委員長 その他よろしいでしょうか。

○山崎委員 杉本委員のおっしゃる内容も、止水板のことですけども、関連ですけどね。ディア四日市は――

――地下2階と地下1階の車の中に人がいるかないかの確認もきちんとしてから帰られたと。これが伝えられています。確認しています。

――この大雨に対応する対策として、国土交通省の問題というようにところが今出ましたけども、ポイントは今、あの周辺で何が行われてるかということなんです。円形デッキの工事が行われています。

この円形デッキの工事が行われていることで、止水板をなぜ上げなかったかというのポイントの1つです。――

訂正・取消し後の会議録の案

じゃ、これ、本当の根本的なものは、そこまでの雨を想定してのことが意識できとったかっていうところで、多分意識はできてなかったと。で、大雨が降ったことによって、もうどうしようもなくなった。もうこんな記録的な大雨はなかなかなかったことですからってなってるのが現状です。

安全管理
っていうところの意識がどうなのかなという問題が起きたと思うんですけど、この辺は部長、どう捉えますか。

○田中部長 バスタの工事が影響したかどうかについても今、検証委員会で検証してもらっていますんで、我々も、ちょっとそこまでは分からないので、検証結果を待ちたいと思います。申し訳ないです。

○山崎委員

私は現場に行ってそのようなことで全部判断を、パトロールする中で、その前の日に送られてきた映像を検証することによって、全部現地を歩かしてもらいまして、——そう感じましたので、この皆さんの気持ちを代弁して思いを伝えておかないと、とてもこれ

訂正・取消し後の会議録の案

は、分かっているのになぜ伝えなかったというふうにもなりますので、きちんとここで委員会でもやっぱり伝えさせていただいて、その後の検証をいただきたいと思います。

以上です。

○龍神委員長 御答弁はよろしいですか。

○山崎委員 答えづらいですね。

○龍神委員長 いいですね。分かりました。